教職課程の情報公開（武蔵野学院大学）

・教員養成の理念や養成する具体的な教員像
本学の学則第１条において、「教育基本法・学校教育法及び建学の精神に基づき、教育を社会との関連において捉え、他者理解を根底においた創造的な知性と豊かな人間性、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度及び高度情報化社会に対応できる諸能力をそなえ、我が国及び国際社会の発展に寄与する主体性のある人材の育成を目的とする」としており、教員養成・構想に合致するものと考えている。

・教職指導に係る学内組織などの体制
（１）大学内の各学部・学科等との連絡調整を行なう委員会等
① 委員会の名称 教職センター＜教育実習担当＞
② 委員会等の構成員（役職・人数等）
教職センター長（１名）
副センター長（１名）
センター委員　（１名）
事務職員　（２名）
③ 委員会等の運営方法
３年次に行なう「教育職員基礎学力試験」の問題作成及び試験の採点・評定を中心とするとともに、外部機関による「英語検定試験」などに関する学生の状況等も含め、当該学生が、教育実習に適格かどうかに関する資料を「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」に提出・審議し実習参加者を決定する。
また、実習生の評価に関して、教職センターで基礎資料を作成し、「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」で決定する。
（２）大学外の関係機関（例:都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行なう委員会等
① 委員会の名称
教職センター
② 委員会等の構成員（役職・人数等）
教職センター長（１名）
副センター長（１名）
センター委員　（１名）
事務職員　（２名）
③ 委員会等の運営方法 埼玉県教育委員会などより指摘等があった場合、対応する。

・教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績など

氏名	学位	担当科目	業績・経歴
佐々木隆	博士（英文学）	英米文学史 英書購読 国際文化交流 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	〔著書〕 ・『こどものための英米文学』（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、平成 22 年 2 月） ・『文化交流から文化外交へ』（イーコン、平成 22 年 10 月） ・『英語教育の行方』（イーコン、平成 23 年 5 月） ・『日本文化ブームと国際文化交流』（多生堂、平成 24 年 4 月） ・『江戸時代のシェイクスピア受容』（イーコン、平成 25 年 10 月） ・『大学教育の行方』（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、平成 28 年 8 月） ・『イギリスの歴史を知るための 50 章』（共著、明石書店、平成 28 年 12 月） ・『国際文化交流の行方』（前編）（後編）（多生堂、平成 29 年 10 月） ・『ロボット 100 年　文学・マンガ・アニメ・映像』（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、平成 30 年 4 月） ・『異文化コミュニケーション』（前編）（後編）（多生堂、平成 30 年 8 月） ・『田園のイングランド』（共著、彩流社、平成 30 年 8 月） ・『国際文化交流から文化外交へ』（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、平成 30 年 9 月） 〔学術論文〕 ・「日本文化ブームからジャパン・クールまで―日本研究の行方」（『日本の中の異文化』第 7 号、平成 22 年 11 月） ・「ポップカルチャーの行方―日本から発信する魅力―」（『比較文化史研究』第 18 号、平成 29 年 3 月） 〔教育実践記録等〕 ・「ファンタジー文学の行方―文学と科学」（『日本英語文化学会会報』第 4 号、平成 22 年 6 月） ・「教員免許状更新講習と英語教材研究」（『武蔵野教育研究』第 3 巻第 2 号、平成 28 年 2 月） ・「英語教育の現状報告―授業の実践例から―」（『武蔵野教育研究』第３巻第 4 号、平成 29 年 2 月） ・「英語科教育法に関する一考察―実践例と今後の展開」（『武蔵野教育研究』第 3 巻第 6 号、平成 29 年 4 月） ・「教育実践例　教材に関する学生の反応と指導―英書講読」（『武蔵野教育研究』第 3 巻第 8 号、平成 29 年 6 月） ・「教育実践例　教材に関する学生の反応と指導―国際文化交流―」（『武蔵野教育研究』第 3 巻第 9 号、平成 29 年 7 月）

			・「教育実践例　教材に関する学生の反応と指導―英米文学史―」（『武蔵野教育研究』第3巻第10号、平成29年8月） ・「『英語文学』に関する一考察―実践例と今後の展開―」（『武蔵野教育研究』第3巻第14号、平成29年12月） ・「イギリス文化の源流：ケルト文化の取り扱いについて―高等学校から大学へ―」（『新教育課程研究』第3号、平成30年5月） ・「アメリカ文化の根底：『人種のるつぼ』から『サラダボウル論』―中学校・高等学校から大学へ―」（『新教育課程研究』第4号、平成30年6月） ・「アメリカの源流：American Indianはどう扱われて来たか―中学校・高等学校から大学へ―」（『新教育課程研究』第5号、平成30年7月） 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師（平成21年度～現在） ・NPO法人子ども大学かわごえ講師（平成29年度） ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学　子ども大学さやま講師（平成25年度、平成28年度） ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学　コラボレーション講座講師（平成30年度）
本多周爾	博士（法学）	国際コミュニケーション	〔著書〕 ・『発展と開発のコミュニケーション政策』（武蔵野大学出版会、平成18年） ・『現代社会の論点』（共著、文化書房博文社、平成19年） ・『台湾　メディア・政治・アイデンティティ』（春風社、平成22年） ・『国際コミュニケーションの政治学』（春風社、平成29年） ［学術論文］ ・「台湾におけるラジオ放送の役割と機能の変化」（『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第6号、平成21年3月） ・「グローバル化に関する若干の考察」（『武蔵野学院大学大学院紀要』第3号、平成22年4月） ・「台湾における国際放送と放送の国際化」（『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第8号、平成23年3月） ・「変貌する台湾の放送システム」（『ジャーナリズム&メディア』日本大学法学部新聞研究所第4号、平成23年3月） ・「台湾の政治変動に伴う新聞メディアの変容」（『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第9号、平成24年6月） ・「新世界情報コミュニケーション秩序をめぐる国際政治」（『武蔵野学院大学大学院紀要』第4号、平成24年6月）

			・「ナショナル・アイデンティティを再考する－日本からの視点を中心に」（『武蔵野学院大学大学院紀要』第 6 輯、平成 25 年 4 月） ・「いま ODA に求められているもの－日本の国際的な役割」（『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第 10 輯、平成 25 年 4 月） ・「文化帝国主義という言説」（慶應義塾大学法学研究会『法学研究』第 86 巻第 7 号、平成 25 年 7 月） ・「ODA から見た日本の国際貢献」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 3 月） ・「衛星放送とインターネットで変わる国際コミュニケーション」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 7 輯、平成 26 年 3 月） ・「プロパガンダ：政治宣伝と説得のコミュニケーション」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 8 輯、平成 27 年 3 月） ・「ネイション、ナショナリティ、そしてナショナリズム」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 12 輯、平成 27 年 3 月） ・「戦争をめぐるメディア報道とプロパガンダ」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 9 輯、平成 28 年 3 月） ・「東アジア情勢とナショナリズム」『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』（第 13 輯、平成 28 年 3 月） ・「国際コミュニケーションに影響を与えるいくつかの要因」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 11 輯、平成 30 年 3 月）
輪嶋直幸	保健体育学士	スポーツ 2 スポーツと健康 ボランティア 1 ボランティア 2	〔その他〕 ・「ねんりんピック全国大会茨城」（ひたちなか市総合運動公園体育館、NHK 文化センター・日本咀嚼学会・ねんりんピック事務局、平成 19 年 11 月） ・「仁淀川町健康福祉大会 私の満点健康法」（仁淀川町立中央公 民館、仁淀川町社会福祉協議会、平成 19 年 11 月） ・「健康フォーラム 21　仙台国際センター 脳いきいき体操」（宮城県国民健康保険団体連合会、平成 19 年 11 月） ・「いのちへ・いきいきフェスタ 一戸町民文化センター 脳いきいき体操」（岩手県一戸教育委員会、平成 19 年 11 月） ・「ねんリンピック全国大会宮城大会」（ＮＨＫ文化センター・日本咀嚼学会・年輪ピック事務局、平成 24 年 10 月）

青木雅幸	Master of Arts in TESL/TEFL	ビジネス英語 英語科教育法Ⅲ 教育方法・技術	〔著書〕 『Have a Nice Day!　Talking about Daily Activities』（南雲堂、平成19年） ・『English in 30 Seconds -Award Winning TV Commercials from the Cannes Festival』（南雲堂、平成21年） ・『The Globalized Business World』（成美堂、平成23年） ・『Inspirational Stories from Around the World』（南雲堂、平成28年） 〔教育実践記録等〕 ・「Unique Cultural and Linguistic Aspects of an Australian TV Commercial: “Un-Australian” Lamb Promotion Campaign 」（『日欧比較文化研究』第 9 号、平成20年4月） ・「 Utilizing Australian TV Commercials as a Teaching Resource in ESL and Cross-cultural Studies」（『武蔵野学院大学研究紀要』第10輯、平成25年4月） ・「Analyzing ″The Critics’Choice 2012: Anti-smoking TV Commercial Reel″ as a Recommended Free Educational Resource Developed by ANYPAT」（『武蔵野学院大学研究紀要』第13輯、平成28年3月） ・″Methods and Techniques for Utilizing Commercials as Teaching Materials″（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第11輯、平成30年3月） 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師
齋藤英男	教育学士	教職概論 学級経営論 生徒指導論（進路指導を含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	〔学術論文〕 ・「書道（書くこと）を通した心理的効果に関する考察」（『武蔵野学院大学研究紀要』第9輯、平成24年） ・「教育におけるナラティブ活用に関する研究」の研究経過と教員養成」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第10輯、平成25年） ・「日本の書道文化についての考察」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年） ・「教育におけるナラティブ活用の研究－教員養成について」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第11輯、平成26年） ・「幼児・児童の筆跡による性格・行動との関連の考察」（『武蔵野学院大学研究紀要』第12輯、平成26年） 〔その他〕 ・「日本の書トルン展」、平成23年5月 ・「筆跡診断を活用した学生相談」（日本カウンセリング学会埼玉大会、平成25

			年） ・「第 32 回 読売書法展」、平成 27 年 8 月 ・「第 43 回 日本の書展」、平成 27 年 6 月 ・埼玉県教育カウンセラー協会相談役 ・教員免許状更新講習講師
Jeffrey Trambley	修士（音楽）	Oral English Advanced Oral English Communication English Communication English Skills 1 Communication English Skills 2 Communication English Skills 3 Communication English Skills 4 英語科教育法Ⅳ	〔著書〕 ・『ネイティブあたまで・何でも・言える英会話フレーズ辞典』（新星出版社、 平成 22 年） ・『Magic Hat: English Course II』（共著）（教育出版株式会社、平成 20 年） 〔学術論文〕 ・An Initial Assessment of Student iPad Usage at a Japanese University 大学生の iPad 使用法に関する一考察（『武蔵野学院大学研究紀要』 第 10 輯、平成 25 年 4 月） ・“Fostering Learner Autonomy and Motivation Utilizing an Online Reading Journal in Google Drive”（共著）Published in the Conference Proceedings of ACEI (Annual Conference on Education Innovation) pp326-330 11/27/2013 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師
鈴木陽子	修士（法学）	地域文化事情 6	（著書） ・『公法基礎入門［改訂増補第 2 版］』（共著、八千代出版、平成 27 年 4 月） ・『ファンダメンタル 法学・憲法』（共著、税務経理協会、平成 25 年 3 月） 〔学術論文等〕 ・「アメリカ合衆国大統領の議会との関係において signing statement が果たす機能の可能性」（『研究報告人文系編』芝浦工業大学、平成 29 年 3 月） ・「権力分立と執政―執政に対するコントロールの可能性の検討」（『憲法研究』第 48 号、平成 28 年 6 月） ・「スポーツルールにおける安全・危機管理システム―馬術競技における安全・危機管理ルールについて」（『スポーツの現代的課題』プロジェクトペーパー第 7 号、東洋大学現代社会総合研究所、平成 28 年 6 月） ・「執政説と法律執行説の差異―日本国憲法における執政の位置づけを中心として」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 12 輯、平成 27 年 4 月） ・「日本における「執政権」の導入と権力分立論―学説における「執政権」の整理とその配分について」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 5 月）

			・「統治行為論における権力分立の位置づけ」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 10 輯、平成 25 年 4 月） 〔教育実践記録等〕 ・「権力分立（三権分立）論をめぐる研究と問題の整理」（第 21 回東洋大学公法研究会、平成 25 年 6 月） ・「日本における権力分立論の転換―執政権の導入を中心として」（第 23 回東洋大学公法研究会、平成 25 年 9 月） ・「権力分立論における『政治』概念」（第 26 回東洋大学公法研究会、平成 25 年 12 月） ・「『執政』の概念に関する学説の整理」（第 31 回東洋大学公法研究会、平成 26 年 5 月） ・「執政説の成立と展開」（第 33 回東洋大学公法研究会、平成 26 年 7 月） ・「日本国憲法における執政作用の構造と執政概念」（第 35 回東洋大学公法研究会、平成 26 年 12 月） ・「行政における執政概念」（第 220 回憲法研究会、平成 27 年 5 月） ・「権力分立と執政　執政に関する見解の検討」（第 113 回憲法学会、平成 27 年 6 月） ・「スポーツルールにおける安全・危機管理システム」（東洋大学現代社会総合研究所、「スポーツの現代的課題」第 1 回研究会、平成 27 年 12 月） ・「アメリカ大統領の権限行使に関する協働の可能性―signing statements の検討」（第 49 回東洋大学公法研究会、平成 28 年 7 月） 〔その他〕 ・「権力分立（三権分立）論をめぐる研究と問題の整理」（『東洋法学』第 57 巻 2 号、平成 26 年 1 月） ・「権力分立論における権力分割と均衡―統治行為論を考えるための問題意識と先行研究」（『東洋法学』第 56 巻 3 号、平成 25 年 3 月）
和田賢治	博士（学術）	Advanced English Writing	〔著書〕 ・『北京のアダム・スミス　21 世紀の諸系譜』（共訳、作品社、平成 23 年） ・『グローバル政治理論のための 30 冊』（共著、人文書院、平成 23 年） ・『国際関係論の生成と展開　日本の先達との対話』（共著、ナカニシヤ出版、平成 29 年） ・"Microfinance: empowering women and/or depoliticizing poverty?", Julian Elisa and Adrienne Roberts eds., Handbook on the International Political Economy of Gender, Cheltenham and Northampton, MA, Edward

			Elgar Publishing, 2018（共著、平成30年） 〔学術論文〕 ・博士論文「武力紛争後の女性のニーズに対する支援と統治　グローバル・リベラル・ガヴァナンスによるリスク管理をめぐって」（神戸大学、平成22年3月） ・「統治の技術としてのジェンダー訓練」（『国際協力論集』第17巻第2号、平成21年10月） ・「グローバルな生政治の中の「女性」カンダハールにおけるカナダの復興支援チームを事例に」（『国際政治』第161巻、平成22年8月） ・「病／ウィルスをめぐる恐怖、安全、統治　ブッシュ政権の大統領緊急救済計画を事例に」（『国際協力論集』第20巻第1号、平成22年8月） ・「アフガニスタンの農村女性に対するカナダの自立支援プログラム　統治技術としてのエンパワーメント」（『カナダ研究年報』第32号、平成24年9月） ・「平和構築への女性の関与　ジェンダー主流化のパラドックス」（『平和研究』第43号、平成26年10月） 〔その他〕 ・York Centre for International and Security Studies (York University, Canada) 客員研究員 ・インタビュー"Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project: Popoki, What Color is Peace? What Color is Friendship?" International Feminist Journal of Politics, Vol.13, No.2, 2011 ・教員免許状更新講習講師（平成28年～現在）
角田牧	理学修士	情報処理入門	〔教育実践記録等〕 ・「武蔵野学院大学における 2010年度新入生の計算能力」（『武蔵野学院大学研究紀要』第9輯、平成24年6月）
梁媛淋	博士（学術）	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	〔学術論文〕 ・博士論文「幕末大名家の身分構造」（東京大学、平成28年6月） ・「幕末萩毛利家の身分構造」『年報地域文化研究』第17号、平成26年3月 ・「幕末尾張徳川家の身分構造」『年報地域文化研究』第18号、平成27年3月 ・「十九世紀前半彦根井伊家の身分構造」『日本研究』第53集、平成28年6月 ・「『遊清五録』に関する一考察―幕末における漢文の実用ある役割―」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第14輯、平成29年3月） ・「『遊清五録』に関する一考察―漢文による筆談について―」（『武蔵野学院大学

			日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月） 〔その他〕 ・「文久三年（1863）八月十八日の政変と京都守護職」（東アジア若手研究者合同研究発表会、平成 21 年） ・翻訳　保谷徹「国外所藏日本相关史料之调查、收集及研究资源化之研究―与日本学士院 UAI 相关事业之关联性―」（第五回東亜細亜史料研究編纂期間国際学術会議―東京大学伊藤国際学術研究センター会議『アジア歴史資料の編纂と資源化』東京大学史料編纂所、平成 28 年 11 月 7・8 日）
髙田久実	修士（法学）	現代社会論 1（日本国憲法を含む） Advanced English Reading English Reading Integrated English	〔著書〕 『法学概論』（共著、慶應義塾大学出版会、平成 27 年 4 月） 「明治初年期における“紙幣”」の法秩序―断罪無正条条例の規範形成機能―」（共著、林康史編著『貨幣と通貨の法文化』、国際書院、平成 28 年 9 月） ・「我が国における意匠法の淵源」麻生典編著『意匠法の現状と課題』（日本評論社、平成 28 年） ・「旧刑法における罰金刑の成立過程」高塩博編『刑罰をめぐる法文化』（国際書院、平成 30 年） 〔学術論文〕 ・「旧刑法における印章偽造罪の制定過程に関する一考察　―法継受の実証的様相―」（慶應義塾大学大学院法学研究科『法学政治学論究』第 99 号、平成 25 年 12 月） ・「拷問制度と旧刑法典の編纂―偽証罪と誣告罪の狭間に―」　（法務省大臣官房司法法制部『司法法制部季報』第 142 号、平成 28 年 6 月） ・「刑事裁判費用制度成立小史」『司法法制部季報』第 144 号、平成 29 年 2 月 ・"Who Led the Modernization of Japan during the Early Meiji Period?" （共著、『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 10 輯、平成 29 年 3 月） 〔教育実践記録等〕 ・「明治期における「紙幣」の法規範化―旧刑法典編纂の視角から」法制史学会東京部会第 257 回例会、平成 27 年 7 月 ・「明治初年期の財産刑における「贖い」と「刑罰」」法文化学会第 19 回研究大会、平成 28 年 11 月 ・「戦後の改正刑法準備草案起草作業と團藤文庫－「名誉に対する罪」を素材として－」團藤重光研究プロジェクト研究会第 21 回研究会、平成 29 年 7 月 ・「展示史料説明」法務省主催法の日フェスタ in 赤れんが明治 150 年記念特別企画日本法制史研究者による記念講演会・展示

			史料説明会、平成 30 年 10 月 〔その他〕 ・法務省法務史料展示室 展示・整理作業補助員（平成 24 年 4 月～現在に至る） ・「法務史料展示室だより『法史の玉手箱』」編集・刊行補助員（平成 25 年 4 月～現在に至る） ・「Q&A（裁判所構成法と明治政府の裁判所制度）」（共著、『法史の玉手箱』 第 10 号 、 法務省大臣官房司法法制部 法務史料展示室だより第 41 合、平成 28 年 7 月） ・法制史学会『法制史研究』編集・刊行補助（平成 29 年 4 月～現在） ・「法務史料展示室が伝える「司法の近代化」」（「法務史料展示室開室満 20 年にあたり」、共著『司法法制部季報』第 139 号、平成 27 年 6 月） ・「Q&A「『刑事問題（天）』・『刑事答案（地）』と明治初期における刑事法の教授」（共著、『法史の玉手箱』第 13 号、法務省大臣官房司法法制部 法務史料展示室だより第 44 号、平成 29 年 7 月） ・「河野敏鎌」法務省法務史料展示室企画展示『明治黎明期の司法官たち』、平成 26 年 7 月 ・「関口豊」法務省法務史料展示室企画展示『明法寮の組織と役割』、平成 28 年 7 月 ・「江戸時代における幕府職制と『板倉政要』にみる初期の裁判」法務省法務史料展示室企画展示『前近代の『司法資料』』、平成 29 年 7 月 ・法制史学会 70 周年記念事業『法制史学会 70 周年記念若手論集』編集委員（平成 30 年 1 月～現在） ・龍谷大学 矯正・保護総合センター嘱託研究員（平成 30 年 4 月～現在） ・「民法典論争」（法務省法務史料展示室『明治 150 年記念特集展示』、平成 30 年 7 月）
林大輔	修士（法学） 修士（アメリカ研究）	English Writing Communication English	〔著書〕 ・「EU の対外政策における規範と限界　対日・対中外交を中心に」（共著、兪敏浩、今野茂充編著『東アジアのなかの日本と中国　規範・外交・地域秩序』、晃洋書房、平成 28 年） ・「集団的自衛権と安全保障」（共著、神野潔編著『教養としての憲法入門』、弘文堂、平成 28 年） ・「イギリスと東アジア　英中友好通商航海条約交渉を中心に、1945－1948 年」（共著、細谷雄一編著『戦後アジア・ヨーロッパ関係史　冷戦・脱植民地化・地域主義』、慶應義塾大学出版会、平成 27 年）

			・共訳『リベラルな秩序か帝国か　アメリカと世界政治の行方　上・下』第2章～第5章担当（勁草書房、平成24年） 〔学術論文〕 ・「EU・中国関係の制度的枠組　法的基盤・重層的対話枠組・パートナーシップ」（『日本EU学会年報』第38号、平成30年5月） ・「対立と協調のはざまで――欧州の対中認識：EUとドイツ・イギリスを中心に」（日本国際問題研究所編『中国の対外政策と諸外国の対中政策』、平成30年3月） ・「EU・中国関係の40年――経済・通商関係から包括的な戦略的パートナーシップの形成へ、1975年－2015年」（ EUSI Commentary, Vol. 58、平成27年8月） ・「第二次世界大戦期の香港問題、一九四一年－一九四五年　帝国・脱植民地化・降伏受理をめぐる英米中関係」（『法学政治学論究』第92号、平成24年3月） ・「イギリスの中華人民共和国政府承認問題、一九四八年－一九五〇年　戦後アジア・太平洋国際秩序形成をめぐる英米関係」（『法学政治学論究』第76号、平成20年3月） 〔その他〕 ・翻訳「民主主義国家に挑戦するシャープパワーという毒牙」（『中央公論』2018年7月号） ・"TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program"（共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月） ・書評「廉舒『中国外交とプラグマティズム　一九五〇年代における中国の対英政策』（慶應義塾大学出版会、2016年）」（『中国研究月報』第71巻第10号、平成29年10月） ・"How Public Opinion on the North Korean Threat Has Influenced Japanese Foreign Policy," Asia Maior, Vol. XXVII, 2016 ・書評「渡辺昭一編著『コロンボ・プラン戦後アジア国際秩序の形成』法政大学出版局、2014年」（東京財団「政治外交検証」『外交史ブックレビュー』第57号、平成26年8月） ・「EU・中国関係の中期的戦略計画と中国の対EU政策」（EUSI Commentary, Vol. 36、平成26年7月） ・書評「渡邉昭夫編『アジア太平洋と新しい地域主義の展開』千倉書房、2010年（東京財団「政治外交検証」）」（『外交史ブックレビュー』第27号、平成22年12月）

			・教員免許状更新講習講師（平成 30 年～現在に至る）
宮本一史	教育学士	教育心理学 教職実践演習（中・高）	〔著書〕 ・『武蔵野短期大学幼児教育学科　平成 27 年度　実習の手引き』（共著、武蔵野短期大学幼児教育学科、平成 27 年 3 月） 〔その他〕 ・武蔵野短期大学学長 ・埼玉県狭山市振興審議会委員 ・東京都小平市教育委員会学校経営協力者委員 ・埼玉県狭山市福祉審議会委員 ・狭山市立祇園保育所指定管理者選定委員会委員 ・教員免許状更新講習講師
野村和	修士（教育学）	教育史 教育方法 教育課程総論	〔著書〕 ・『読書教育の方法』（共著、学文社、平成 27 年） ・『社会教育の学習論―社会教育がめざす人間像を考える」（共著、学文社、平成 28 年） 〔学術論文〕 ・「新たな学力観と行動基準による教育の変容』（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 10 輯、平成 25 年） ・「高等女学校の教育内容の変遷に関する研究」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年） ・「成人教育におけるナラティブアプローチの実践」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年） ・「第二地方部における高等女学校の普及過程の分析」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年） ・「日本における『児童の権利条約』批准以降の取り組みと課題に関する考察」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年） ・「ラジオが提供した育児関連番組に関する考察」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年） 〔その他〕 ・共訳『学習の本質――研究の活用から実践へ』（OECD 教育研究革新センター編著、明石書店、平成 25 年） ・訳『幼児教育入門――ブルーナーに学ぶ』（サンドラ・シュミット著、明石書店、平成 26 年） ・狭山市社会教育委員 ・教員免許状更新講習講師
伴好彦	修士（体育学）	スポーツ 1	〔著書〕 ・『健康づくりのサイエンス』（共著、サンウエイ出版、平成 13 年） 〔学術論文〕

			・「回転競技練習における Inclined-Pole の効果について」（共著、『スキー研究』第 2 巻、平成 15 年） ・「低速度におけるカービングターン指導プログラム」（『日本スキー学会誌』第 15 巻、平成 17 年） ・「随意の筋活動時に発生する皮膚コンダクタンス反応に関する研究」（共著、『武蔵野短期大学研究紀要』第 26 輯、平成 24 年） ・「アルペンスキー用ヒールフリースラッププレートの開発」（共著、『スキー研究』第 11 巻、平成 26 年） 〔教育実践記録等〕 ・「幼児教育における組立体操（stunts pyramid）指導に関する研究」（国際幼児教育学会第 28 回大会、平成 19 年、『武蔵野短期大学究紀要』第 22 輯、平成 20 年） ・「Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response」（日本生理学会第 88 回大会、平成 23 年） ・「Inclined －Pole を利用した回転競技トレーニングーShort Pole との比較ー」（日本スキー学会、2013 年度研究会、平成 25 年） ・「本学学生の体型とダイエット行動の推移」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年） ・「スポーツに対するイメージに関する研究（1）」（『東洋大学現代社会総合研究所　研究プロジェクト　スポーツの現代的課題　プロジェクト・ペーパー』No.8、平成 29 年） ・「幼児の基本的動作と指導用語に関する研究」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 30 輯、平成 28 年） ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 32 輯、平成 30 年） 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師 ・狭山市スポーツ推進審議会委員 ・狭山市総合子育て支援センター　パパとあそそぼう会講師
成瀬雄一	修士（心理学）	心身障害児教育Ⅰ 心身障害児教育Ⅱ 教育相談	〔学術論文〕 ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望―描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討―」（共著、『人間関係学研究』第 18 巻第 2 号、平成 24 年） 〔教育実践記録等〕 ・「学校支援を行う外部専門家―協働と相談をともに行う教育相談員」（武蔵野教育研究会、武蔵野教育研究、平成 21 年）

			・「指導に自信を失った初任者教師への行動コンサルテーション」（『日本学校メンタルヘルス学会 第15回大会プログラム・抄録集』、平成24年） ・「全学校規模における行動コンサルテーション―初任者教師の有用性の向上―」（『日本行動分析学会 第30回年次大会発表論文集』、平成24年） 〔その他〕 ・狭山市いじめ問題審議・調査委員会委員
小山みずえ	博士（教育学）	教育原理	〔著書〕 ・『子育ち・子育て支援学』（共著、保育出版社、平成23年） ・『近代日本幼稚園教育実践史の研究』（学術出版会、平成24年） ・『子どもの心によりそう保育・教育課程論（改訂版）』（共著、福村出版、平成30年） 〔学術論文〕 ・「明治後期の幼稚園における保育研究の展開 ―松本幼稚園における児童心理学の受容を中心に―」（『乳幼児教育学研究』第15号、平成18年） ・「大正期の幼稚園における心理学的視点の導入―神戸幼稚園を事例として―」（『幼児教育史研究』創刊号、平成18年） ・「戦前日本の幼稚園における年中行事の位置づけ―雛祭りを中心に―」（『幼児教育史研究』第12号、平成29年 ） 〔その他〕 ・国立民族学博物館共同研究員「モノにみる近代日本の子どもの文化と社会の総合的研究―国立民族学博物館所蔵多田コレクションを中心に―」（平成26年10月～現在）
穐元美咲	修士（文学）	English Writing Advanced English Writing	〔学術論文〕 ・"Narrative constructions in Japanese and English: the difference between Japanese and English perspectives,"（Colloquia, Vol. 33、平成24年） ・"Interactive nature of conversation: the "fake" turn-keeping system of lists and its prosody,"（Colloquia, Vol. 34、平成25年） ・「人工共通語希求の内発性と外発性についての一考察」（『藝文研究』第112号、平成29年） ・「社会言語学のトレンドと言語意識」（『Fora』第1号、平成29年） 〔その他〕 ・青山学院高等部英語科　非常勤講師 ・慶應義塾大学大学院文学研究科研究奨励助教（有期）（平成28～30年）

荒木洋育	博士（文学）	地域文化事情 8 地域文化事情 5	〔著書〕 ・　『悪の歴史　西洋編(下）』（共著、堀越孝一編　清水書院、平成 30 年） 〔学術論文〕 ・「『アングロ＝ノルマン王国』崩壊期における国王とクロス＝チャネル＝バロンズ」（『西洋史学』第 226 号、平成 19 年 3 月） ・「『アングロ＝ノルマン王国』崩壊期のイングランド国王財政とクロス＝チャネル＝バロンズ」（『史学雑誌』第 116 巻第 4 号、平成 19 年 4 月） ・「ジョン治世初期のイングランド国王行政の再評価―軍役代納金の徴収状況から」（『歴史学研究』第 843 号、平成 20 年 8 月） ・「1960、70 年代英国の貿易構造の転換とニュージーランド　自立とその代償」（『日欧比較文化研究』第 18 号、平成 26 年 10 月） ・「『マグナ＝カルタ』を公認した英王ジョンの虚像と実像　プランタジネット家の君主として」（『日欧比較文化研究』第 19 号、平成 27 年 10 月） ・「リチャード 1 世・ジョン期イングランドの統治構造と教皇との関係：カンタベリー大司教・行政長官ヒューバート・ウォルターの役割」（『日欧比較文化研究』第 21 号、平成 29 年 10 月） ・「エリノア・オブ・アキテーヌとリチャード 1 世期イングランド統治体制」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月） ・「ジョン期イングランドの統治手法の特徴とその問題点：軍役代納金の賦課状況から」（『日欧比較文化研究』第 22 号、平成 30 年 10 月） 〔教育実践記録等〕 ・「リチャード 1 世期（1189－99）イングランドの政治過程と行政長官職」（日本西洋史学会第 60 回大会、平成 22 年 5 月） ・「リチャード 1 世・ジョン期イングランドにおける国王と高位聖職者：カンタベリー大司教叙任問題をめぐって」（日本西洋史学会第 61 回大会、平成 23 年 5 月） 〔その他〕 ・埼玉県立芸術総合高校　特別非常勤講師
梅田紘子	文学修士	英語学概論 English Grammar 異文化コミュニケーション	〔著書〕 ・「ディスコース・ポライトネス理論の確立と可能性―大阪のことばの分析より」（共著、『ことばの事実をみつめて　言語研究の理論と実証』、開拓社、平成 23 年） ・『言語聴覚士国家試験―受験対策実戦講座 2017～18 年版』（共著、診断と治療社、平成 28 年）

			〔教育実践記録等〕 ・"On the Function of Tense in English and Japanese" (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第3輯、平成22年4月) ・"Hedges and Rising Intonation: Politeness Phenomena in English and Japanese" (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第6輯、平成25年4月) ・「アイルランド―抵抗の歴史と現状」(『日欧比較文化研究』第17号、平成25年10月) ・「国際貢献のための日本英語」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第11輯、平成26年3月) ・「「積極的」と「消極的」の英語訳―『吾輩は猫である』における用例より―」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第8輯、平成27年3月) ・"Introducing TOEIC Bridge to Musashino Gakuin University: Evaluation of the 2014 Results" (共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年3月) ・「英語仮定法―反事実でない用法について」(『日欧比較文化研究』第21号、平成29年10月) 〔その他〕 ・「ケルト文化の里帰り―フランス・ブルターニュとスペイン・ガリシア」(『むらおさ』第24号、平成28年7月) ・教員免許状更新講習講師(平成21年～現在)
大島範子	修士(文学)	English Reading Advanced English Reading	〔学術論文〕 ・"The Severed Ideal Nation; Dualistic Monarchism and Monistic Commonwealth in Paradise Lost"(『コロキア』第34号、平成25年) ・「劇場閉鎖と教育的エンターテインメント―護国卿時代におけるウィリアム・ダヴェナントの自己保存」(『17世紀英文学研究』第17号、平成27年) ・「貞淑な妻の申し開き――ダヴェナントの『ロードス島攻囲』(1656)における、捕囚と変節」(『Shakespeare Journal』第4号、平成30年) 〔その他〕 日本シェイクスピア協会奨励賞、平成30年
神谷奈緒	M.Ed./M.A.T.(Elementary Education) 修士(教育学)	Communication English Skills 1 Communication English Skills 2 Communication English Skills 3 Communication English Skills 4	〔その他〕 ・法政大学、東京経済大学、恵泉女学園大学TOEIC講座担当 ・東北大学、明治学院大学TOEFL ITP, iBT講座担当 ・京都府教育委員会主催のTOEICセミナー担当

			・福井県教育委員会主催異文化コミュニケーションセミナー担当 ・私立星美学園小学校非常勤講師
小口恵巳子	博士（社会科学）	教育社会学	〔著書〕 ・『親の懲戒権はいかに形成されたか　明治民法編纂過程からみる』（日本経済評論社、平成 21 年） ・「親の懲戒としての「勘当」と「離籍」」（共著、『三行半の世界とその周縁』、日本経済評論社、平成 24 年） ・『現代家族ペディア』（共編、弘文堂、平成 27 年） ・『家庭支援論』（共著、一藝社、平成 30 年） 〔学術論文〕 ・「明治民法編纂過程における親の懲戒権－名誉維持機能をめぐって－」（『比較家族史研究』第 20 号、平成 18 年 3 月） ・博士論文「明治民法編纂過程における親の懲戒権の研究」（お茶の水女子大学、平成 19 年 3 月） ・「旧民法編纂過程における親の懲戒権の生成過程とフランス民法の受容」（『人間科学研究』第 4 巻、平成 20 年 3 月）
清水碧	修士(学術)	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	〔学術論文〕 ・「韓国語の"-게 되다 key toyta"の用法について」（東京大学大学院総合文化研究科修士論文、平成 27 年 12 月） ［教育実践記録等］ ・「韓国語の“-게 되다”の用法について」（朝鮮語研究会第 248 回研究会、平成 28 年 5 月）
瀬尾尚史	Docteur en esthetique et science de l'art（博士・美学芸術学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	〔著書〕 ・『La representation du Japon dans le Cinematographe Lumiere』（Atelier National de Reproduction des Theses、平成 26 年） ・『国境を超える現代ヨーロッパ映画２５０　移民・辺境・マイノリティー』（共著、河出書房新社、平成 27 年） 〔学術論文〕 ・「アンドレ・バザン再読 －映像テクノロジーとイデア論－」（『至誠館大学研究紀要 第 4 巻』、平成 29 年） ・「写真と映画が交錯するとき －ロラン・バルトの映像論をめぐって（『至誠館大学研究研究紀要 第 5 巻』、平成 30 年）

外池武嗣	教育学士	教師論 教育行政学 教職実践演習（中・高）	〔教育実践記録等〕 ・「生徒の学習意欲と授業構築に関する考察」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 21 輯、平成 19 年 6 月） ・「園長の子育てコラムの展開」（『武蔵野短期大学研究紀要』第 24 輯、平成 22 年 4 月） ・東京都東大和市社会教育委員研究報告書「生き生きした地域づくりに向けて」（平成 28 年 1 月） 〔その他〕 ・高等学校長 ・全国地理教育研究会会長、東京都公立高等学校退職校長会副会長(新規採用教員任用前研修担当) ・武蔵野短期大学附属幼稚園園長 ・教員免許状更新講習講師 ・東京都東大和市教育委員会社会教育委員
高橋良博	文学修士	カウンセリング	〔著書〕 ・『人間関係能力育成の研究』（共著、くらすなや書房、平成 19 年 4 月） ・『心理咨询与心理督导』（共著、邦題：『カウンセリングとスーパーバイズ』北京、中国原子能出版社、平成 25 年 8 月） 〔学術論文〕 ・「中国のこどもの心の問題」（『社会と人文』第 5 号、平成 20 年 3 月） 〔教育実践記録等〕 ・「カウンセリングにおける問題解決的アプローチ」（共著、『駒澤大学倫理学論集』第 15 号、平成 25 年 3 月） ・「防災教育と子どものこころのケアの現況 1」（『駒澤大学心理学論集』第 16 号、平成 26 年 3 月）
Jonathan Cherry	Bachelor of Arts in Chinese and Management Studies	Communication English Skills 5 Communication English Skills 6	〔教育実践記録等〕 ・"TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program" （共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月） ［その他］ ・シェーン英会話講師（平成 18 年～平成 28 年） ・東京メモリアルクリニック平山英語講師（平成 16 年～現在）
趙美栄	学士（文学）	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	〔学術論文〕 ・「The Color Purple における黒人女性知識人 Corrine が抱くジレンマ」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月）

中川太介	修士（政治学）	中国語コミュニケーション	〔学術論文〕 ・「中華民国初期、雲南における塩政改革案　産塩を中心に」（『東洋学報』第97巻第2号、平成27年9月） ・「中華民国北京政府期における雲南の塩政改革」（『社会経済史学』第83巻第1号、平成29年） ・「雲南辺境における辛亥革命―非・中心としての国家・民族」（修士論文、平成19年3月） ・「中華民国期の雲南における塩業改革―北京政府時期を中心に―」（博士論文、平成30年7月） 〔教育実践記録等〕 ・「雲南辺境における辛亥革命」（ISMC研究会、平成20年5月） ・「民国期雲南塩井の灶戸と行政」（社会経済史学会第80回全国大会、平成23年5月） ・「民国期における雲南塩政とその改革について―北洋政府期を中心に」（仙人の会、平成26年2月） 〔その他〕 ・松尾文夫『アメリカと中国』（岩波書店、平成29年）執筆補助 ・東京大学大学総合教育研究センター「朝日講座」の授業補助および画像編集（平成25年9月～現在） ・東洋文庫における『モリソンパンフレット』等、所蔵資料のデジタル化作業および書誌情報整理（平成23年7月～現在） ・中国雲南省昆明市雲南大学留学（平成20年～平成22年） ・書評「周婉窈著、石川豪、中西美貴訳『図説　台湾の歴史』（平凡社）」（『史学雑誌』第117巻第1号、平成20年）
Bonnie.U.Bergmann	学士(文学)	Oral English Advanced Oral English Communication English Skills 1 Communication English Skills 2 Communication English Skills 3 Communication English Skills 4	〔教育実践記録等〕 ・"Introducing TOEIC Bridge@ to Musashino Gakuin University: Evaluation of the 2014 Results" （共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年3月） ・"Reassessing TOEIC Bridge Testing Initiatives and English Education Goals at Musashino Gakuin University" （共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第13輯、平成28年3月） ・"TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program" （共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第14輯、平成29年3月） 〔その他〕 ・めばえ教室非常勤講師（日本人教師とのチームティーチング経験） ・東野高等学校ALT経験

福田直	農学修士	特別活動論	〔著書〕 ・『土をどう教えるかー新たな環境教育教材』上巻・下巻（共著（編集委員長）、古今書院、平成 21 年） ・「『自然の教育』カリキュラム ふれる・感じる・気づくー年少編」、「『自然の教育』カリキュラム ふしぎの心をふくらませるー年中編」、「『自然の教育』カリキュラムー冒険する・仲間と学びあうー年長編」（共著、ひとなる書房、平成 25 年） ・『土壌の観察・実験テキストー自然観察の森の土壌断面集つきー』（共著、一般社団法人日本土壌肥料学会、平成 26 年） 〔学術論文〕 ・「2012 年度鳥取大会シンポジウム概要『今後、土壌教育をどう進めるか』」（共著、日本土壌肥料学会、平成 25 年） ・「海外と日本の教科書における土壌記載から見た土壌教育の比較検討(1)－日本とアメリカの教科書比較－」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 12 輯、平成 26 年） ・「日本と中国の環境教育の比較分析」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 12 輯、平成 27 年） ・「学習指導要領改訂に向けた学会員の要望調査結果の分析と土壌教育への提言」（『日本土壌肥料学雑誌』第 86 巻第 5 号、平成 27 年） ・「学習指導要領の次期改訂に向けた「土壌教育に関する要望書」の文部科学省への提出の背景と経緯」（共著、『日本土壌肥料学雑誌』第 86 巻第 6 号、平成 27 年） ・「21 世紀型能力の育成におけるフレネ教育技法の導入の意義と課題」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 13 輯、平成 28 年） ・「関係諸機関との連携に基づく教育活動の構築に関する研究―土壌リテラシーの育成に向けた取組―」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 14 輯、平成 29 年） ・「スーパーサイエンスハイスクールにおける先進的な取組と成果の検証」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 15 輯、平成 30 年） 〔教育実践記録等〕 ・「『科学的リテラシー』を高める生物教育のあり方に関する研究－第二報－」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 10 輯、平成 25 年） ・「学力観の変遷－ナラティブ・アプローチによる 21 世紀型学力の模索と育成」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 10 輯、平成 25 年） ・「学力観の変遷－ナラティブ・アプローチによる科学概念構築を目指す理科授業等

			の検討」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年） 〔その他〕 ・埼玉県川越高等学校スーパー・サイエンス・ハイスクール推進指導委員長（平成 25 年～平成 29 年） ・埼玉県松山高等学校スーパー・サイエンス・ハイスクール推進指導委員（平成 25 年～現在） ・日本土壌肥料学会第 9 部門部門長（平成 26 年～現在） ・教員免許状更新講習講師（平成 22 年～平成 29 年） ・埼玉県豊岡高等学校評議員（平成 28 年～現在） ・埼玉県川越高等学校「川高サイエンス探究」事業スーパーバイザー（平成 30 年～現在） ・公開シンポジウム「いま改めて問う、土をどう教えるか―土壌教育の再設計と未来の学習指導要領―」（講演、日本土壌肥料学会 2018 年度神奈川大会、平成 30 年） ・教員免許状更新講習講師
藤井宏尚	修士（文学）	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	〔著書〕 ・『世界遺産で学ぶフランス語』（共著、朝日出版社、平成 20 年） ・『はじめてのパリ（新・改訂版）』（共著、朝日出版社、平成 22 年） ・『新・赤い風船』（共著、朝日出版社、平成 25 年） ・『フランスさまざま』（共著、朝日出版社、平成 25 年） ・『キーフレーズで学ぶフランス語』（共著、三修社、平成 30 年） 〔その他〕 ・NHK 文化センター、東京都千代田区生涯学習館フランス語講師
松本多加志	文学士	道徳研究の指導法	〔著書〕 ・『新学習指導要領と道徳教育の改善ポイント』（共著、教育開発研究所、平成 21 年） ・『小学校新指導要録対応の絶対評価基準表』（共著、明治図書、平成 22 年） ・『学校管理職のための問題解決Ｑ＆Ａ』（共著、ぎょうせい、平成 23 年） 〔教育実践記録等〕 ・『地域との連携を図る学校教育の在り方について』（『武蔵野短期大学研究紀要』第 25 輯、平成 23 年） ・『子どもの学びを発展させる保幼小の連携の在り方について』（『武蔵野短期大学研究紀要』第 27 輯、平成 25 年） 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師

横手尚子	学士（英語英米文化学）	英語コミュニケーション Public Speaking	〔著書〕 ・『おもてなし接客英会話テキストブック：外国人送迎ドライバー向け--接客マナーの基本と接客英語が学べる』（Amazon Kindle 電子書籍、平成 27 年） ・『世界に通じるマナーとコミュニケーション-つながる心、英語は翼』（共著、岩波書店、平成 29 年） ・『ネイリストのためのマナーと接客英会話』（共著、IBC パブリッシング、平成 30 年） 〔その他〕 ・日本経済新聞電子版『仕事に役立つおもてなし英語連載』（平成 28 年） ・オンライン予備校学びエイド英語講座『高校生から学べるおもてなし接客英語』（平成 28 年） ・オンライン予備校学びエイド英語講座『タクシー・ハイヤー業務トラブル対応編』（平成 29 年） ・私教育新聞『グローバル時代の Strategy 連載』（平成 30 年）

・教員養成に係るカリキュラム、シラバスなど

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

認定を受けようとする学部・学科等	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	入学定員 120 名	学位 学士（国際コミュニケーション）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目							
		授業科目	配当年次	単位数		授業形態	備考	職位	教員氏名
科　目	単位数			必修	選択				
日本国憲法	2	現代社会論１（日本国憲法を含む）	１・２	2		講義		講師	髙田久実
体育	2	スポーツ１	１・２		1	実習	２単位選択必修	兼任	伴好彦
		スポーツ２	２・３		1	実習		教授	輪嶋直幸
		スポーツと健康	２・３		2	演習		教授	輪嶋直幸
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	１・２		2	演習	２単位選択必修	兼任	横手尚子
		中国語コミュニケーション	１・２		2	演習		兼任	中川太介
		中国語Ⅰ	１・２		2	演習		講師	梁媛淋
		中国語Ⅱ	１・２		2	演習		講師	梁媛淋
		中国語Ⅲ	２・３		2	演習		講師	梁媛淋
		韓国語Ⅰ	１・２		2	演習		兼任	清水碧
								兼任	趙美栄
		韓国語Ⅱ	１・２		2	演習		兼任	清水碧
								兼任	趙美栄
		フランス語Ⅰ	１・２		2	演習		兼任	藤井宏尚
								兼任	瀬尾尚史
		フランス語Ⅱ	１・２		2	演習		兼任	藤井宏尚
								兼任	瀬尾尚史
情報機器の操作	2	情報処理入門	１・２	2		演習		講師	角田牧

※シラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

①英語（教科に関する科目）

学部	学科等	免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業形態	職位	教員氏名
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 英語科コース １免許状取得に必要な最低修得単位数 ・教科に関する科目 20単位	中一種免 （英語） 高一種免 （英語）	英語学	英語学概論	２・３	２		講義	兼任	梅田紘子
				English Grammar	２・３		２	演習	兼任	梅田紘子
			英米文学	英米文学史	１・２	２		講義	教授	佐々木隆
				英書講読	３・４		２	演習	教授	佐々木隆
			英語コミュニケーション	English Reading	１	２		演習	講師/兼任	高田久実/大島範子
				English Writing	１	２		演習	講師/兼任	林大輔/亀元美咲
				Oral English	１	２		演習	教授	J.Trambley
									兼任	B.U.Bergmann
				Advanced Oral English	１	２		演習	教授	J.Trambley
									兼任	B.U.Bergmann
				Advanced English Reading	２	２		演習	講師/兼任	高田久実/大島範子
				Advanced English Writing	２	２		演習	准教授/兼任	和田賢治/亀元美咲
				Communication English	１・２		２	演習	講師	林大輔
				Communication English Skills 1	１		２	演習	教授	J.Trambley
									兼任	B.U.Bergmann
									兼任	神谷奈緒
					１		２	演習	教授	J.Trambley
				Communication English Skills 2					兼任	B.U.Bergmann
									兼任	神谷奈緒
					２		２	演習	教授	J.Trambley
									兼任	B.U.Bergmann
				Communication English Skills 3					兼任	神谷奈緒
					２		２	演習	教授	J.Trambley
									兼任	B.U.Bergmann
									兼任	神谷奈緒
				Communication English Skills 4	２		２	演習	兼任	J.B.Cherry
					２		２	演習	兼任	J.B.Cherry
					２・３		２	演習	兼任	B.U.Bergmann
					３・４		２	演習	兼任	横手尚子
				Communication English Skills 5	３・４		２	演習	講師	林大輔
				Communication English Skills 6	３・４		２	演習	教授	青木雅幸
				Public Speaking						
				Integrated English						
				英語討論						
				ビジネス英語						
			異文化理解	異文化コミュニケーション	１・２	２		講義	兼任	梅田紘子
				国際文化交流	１・２		２	講義	教授	佐々木隆
				地域文化事情６	１・２		２	講義	准教授	鈴木陽子
				地域文化事情８	３・４		２	講義	兼任	荒木洋育
				地域文化事情５	１・２		２	講義	兼任	荒木洋育

※英語コミュニケーション　選択科目より２科目４単位選択必修

※異文化理解　選択科目より１科目２単位選択必修

②英語科（教科又は教職に関する科目）

学 部・学 科 等		免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目					備　考	担当教員	
学部	学科等		授　業　科　目	配当年次	単位数		授業形態		職位	教員氏名
					必修	選択				
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 英語科コース １免許状取得に必要な最低修得単位数 ・教科又は教職に関する科目 中８単位 高 16 単 位	教科又は教職に関する科目 中8 単位 高16 単位	教育社会学	１・２		2	講義	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて中６高14単位以上修得	兼任	小口恵巳子
			国際コミュニケーション	１・２		2	講義		教授	本多周爾
			ボランティア１	２・３	2		実習		教授	輪嶋直幸
			ボランティア２	２・３		2	実習		教授	輪嶋直幸

※ノラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

③教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目						
			授業科目	配当年次	単位数		授業形態	職　位	教員氏名
科目	各科目に含める必要事項	単位数			必修	選択			
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	教職概論 教師論	1・2 2	2	 2	講義 講義	教授 兼任	齋藤英男 外池武嗣
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念及び教育に関する歴史及び思想	6	教育史 教育原理	2 1・2	 2	2 	講義 講義	兼任 兼任	野村和 小山みずえ
	・幼児、児童並びに生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理学 心身障害児教育Ⅰ 心身障害児教育Ⅱ	1・2 2・3 3・4	2	 2 2	講義 講義 講義	兼任 兼任 兼任	宮本一史 成瀬雄一 成瀬雄一
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育行政学 学級経営論	3・4 3	 2	2 	講義 講義	兼任 教授	外池武嗣 齋藤英男
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	中12 高 6	教育課程総論	2	2		講義	兼任	野村和
	・各教科の指導法		英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ	2 2 3 3	2	 2 2 2	演習 演習 演習 演習	兼担 兼担 兼担 兼担	佐々木隆 佐々木隆 青木雅幸 J. Trambley
	・道徳の指導法		道徳教育の指導法	2・3	2		講義	兼任	松本多加志
	・特別活動の指導法		特別活動論	3	2		講義	兼任	福田直
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法・技術 教育方法	3 3	2	 2	講義 講義	兼担 兼任	青木雅幸 野村和
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒指導論（進路指導を含む）	3			講義	教授	齋藤英男
	・教育相談（カウンセリング に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		カウンセリング 教育相談	2・3 3		2 2	講義 講義	兼任 兼任	高橋良博 成瀬雄一
教育実習		中５ 高３	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	4 4 4	1 2 	 2	講義 実習 実習	教授 教授 兼任 教授 兼任	齋藤英男 齋藤英男 西久保栄司 齋藤英男 西久保栄司
教職実践演習		2	教職実践演習（中・高）	4	2		演習	兼任 兼任	宮本一史 外池武嗣

※英語科教育法Ⅱ　　中１種必修　　教科法は該当教科の教科法Ⅰは必修　　教育実習Ⅲは中１種必修
※道徳教育の指導法　中１種必修　　シラバスについては『学生便覧』を参照のこと。

※情報科については取り上げをしているが、まだ科目を継続しているため情報科教育法を含めたものを 掲載。

・学生の教員免許状取得状況

免許状種類	平成 29 年 3 月 卒業	平成 29 年 9 月 卒業	平成 30 年 3 月 卒業	平成 30 年 9 月 卒業
中学教諭１種（英語科）	２名	０名	０名	０名
高校教諭１種（英語科）	２名	０名	０名	０名

・教員への就職状況

免許状種類	平成 29 年 3 月 卒業	平成 29 年 9 月 卒業	平成 30 年 3 月 卒業	平成 30 年 9 月 卒業
中学教諭１種（英語科）	１名	０名	０名	０名
高校教諭１種（英語科）	０名	０名	０名	０名